

## この素晴らしき世界：アジアの現代美術から見る世界の今

2012年3月24日(土)～5月13日(日)

本展では、近年特に成長がめざましく、世界中から注目を集めるアジア諸国で活躍するアーティストの「世界」の認識方法に着目し、それぞれの視点から見た世界を表象した作品を紹介します。

### アジアの急激な経済成長が生み出す影～現代社会が抱える諸問題

アジア諸国の昨今の急激な経済成長は、世界がいまだかつて経験したことのないほど多様な変化をもたらしています。再開発、高層ビルや新築物件の建築ラッシュ、市場の活性化に伴う海外資本の流入によって都市の姿は一変し、人々は繁栄の証ともいえる華麗なる都市の変化を謳歌しながら、一方ではその影に潜む諸現象—古き良き時代の光景の喪失、自国文化衰退の危機、経済格差が生み出す貧富の差の拡大、そして環境破壊にも気づいています。また、未曾有の経済的発展が引き起こす世界のパワーバランスの変化により、民族やジェンダーへの関心が高まり、過去や歴史に対する認識の違いや領土をめぐる争いも表面化しています。

### 7人のアーティストが表す私たちの「素晴らしき世界」

この世界はいったいどこへ向かおうとしているのか。今一度この問いと向き合い、未来の世界のあり方を考えようという試みである本展は、変動を続けるアジアを出自とし、世界で活躍する7名の作家を取り上げ、ユーモラスでウィットに富んだそれぞれの「世界」の表象を紹介します。現実だけでなく理想をも表象した作品は、希望に満ちた素晴らしき世界へ向かうヒントを与えてくれるでしょう。

### 開催概要

- |        |   |
|--------|---|
| 【会期】   | 2012年3月24日(土)～5月13日(日)  |
| 【開館時間】 | 午前10時-午後5時<br>※3月27日(火)～4月5日(木)、5月3日(木・祝)は午後7時まで ※入場は閉館30分前まで   |
| 【休館日】  | 月曜日(ただし4月30日(月・祝)は開館、翌5月1日(火)休館)  |
| 【観覧料】  | 一般 1,000(800)円、大学生 700(600)円、高校生 500(400)円<br>※( )内は前売りおよび30人以上の団体料金<br>※小中学生、65歳以上は無料  |
| 【主催】   | 広島市現代美術館、中国新聞社  |
| 【後援】   | 広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送  |
| 【協賛】   | Austrian Federal Ministry of Education, Culture and Art, Council for Cultural Affairs, Taiwan, Singapore International Foundation, Osage Art Foundation |
| 【協力】   | AKI Gallery, nap gallery, Vitamin Creative Space, Yvon Lambert, Paris, 株式会社堀内カラー、カシマ  |



ツウ・イユン《Planet without Visa》2008  
Courtesy of the artist and Vitamin Creative Space



ジュン・ヤン《ファントム・アイランド》2009  
Courtesy: ShugoArts, Tokyo; Vitamin Creative Space, Guangzhou and Gallery Martin Janda, Vienna



下道基行「戦争のかたち」より、2001-05  
Courtesy of the artist

## 出品作家紹介

### シルパ・グプタ Shilpa Gupta

(1976年、インド生まれ)

身近なところで見られ、経験される民族、ジェンダー、宗教、人種、階級、経済格差などの社会問題に関心を寄せ、これらの現象が孕む社会的不平等やパワーポリティクスなどの状況を、時にラディカル、時に静謐に表現し、問題を提起する。2009年、リヨン・ビエンナーレ、2008年、横浜トリエンナーレなど国際的に活躍する。

### グオ・イツェン (郭奕臣) Kuo I-Chen

(1979年、台湾生まれ)

映像・インスタレーション作品を中心に、人間と社会環境の価値観を捉え直し、その現状と問題点を鋭く問いたたすような作品を発表する。2005年にはヴェネツィア・ビエンナーレ台湾代表として選ばれ、その後も2006年の第1回シンガポール・ビエンナーレなど、さまざまな国際展に参加。2011年には台北市美術館で個展を開催するなど注目の若手作家。

### マイケル・リー Michael Lee

(1972年、シンガポール生まれ)

建築や建築物をめぐる都市環境、特に、破壊や喪失が引き起こす影響についてリサーチを続けており、オブジェや図式を含むインスタレーション作品として発表。また、主に建築と都市をテーマとした展覧会キュレーションも行う。2011年にはシンガポール・ビエンナーレに出品。

### 下道基行 したみち・もとゆき

(1978年、日本生まれ)

なにげなく日常の風景にとけ込み、見過ごされてしまっている異質なものの存在に反応し、日本国内外を旅しながらカメラにおさめ、写真作品として発表する。フィールドワークによりすでにそこにあったものを再提示する方法で、見慣れた風景の別の見方やそこに潜む問題をも提示する。

### ティンティン・ウリア Tintin Wulia

(1972年、インドネシア生まれ)

中国系インドネシア人という自身の出自から、人の「移動」という現象に関心を抱き、境界、国籍、アイデンティティ、帰属といった問題を取り上げ、映像、インスタレーション作品として発表する。2011年、モスクワ・ビエンナーレ、2009年、ジャカルタ・ビエンナーレに参加。

### ジュン・ヤン Jun Yang

(1975年、中国生まれ)

鎮江(中国)生まれ、ウィーンで育ったヤンにとって自分探しの視点は、彼の映像作品において重要な要素となる。近年は、台北にも活動拠点を置き、出身地である中国本土と台湾との関係をはじめ、政治や権力という問題をテーマとした映像作品を発表する。2008年、台北ビエンナーレ出品。

### ツウ・イユン (儲云) Chu Yun (1977年、中国生まれ)

日常の生活で遭遇した小さな発見を出発点とする彼の視点は、身近にあるものを素材としたインスタレーションやオブジェを通して、特に事物・人々の間のコミュニケーションに関する問いを投げかける。2009年にはヴェネツィア・ビエンナーレに出品、同年、ポルティクス(フランクフルト)では個展を開催するなど、国際的に注目を集める。



シルパ・グプタ《100 Hand drawn Maps of India》2007-08  
Courtesy of the artist



グオ・イツェン《71%》2010  
Courtesy of the artist



マイケル・リー《Second- Hand City》  
2010-11  
Courtesy of the artist



ティンティン・ウリア《ルアー》2009  
Courtesy of the artist and Osage Gallery,  
Hong Kong.



## アーティスト・トークからアジア・フェスティバルまで 展覧会をもっと楽しむための関連イベント

### アーティスト・トーク

出品作家が自作の前で語ります。(逐次通訳付)

**3月24日(土) 14:00～16:30**

来館作家(予定) / グォ・イツェン、マイケル・リー、下道基行、ティンティン・ウリア、ジュン・ヤン、ツウ・イユン

会場 / 展示室

※要展覧会チケット、事前申し込み不要

### キッズ・せかいツアー

みんなでおしゃべりしながら展覧会を楽しく見て回ります。展覧会ではどんなせかいが待っているのでしょうか。ツアーの最後は展覧会の作品をモチーフに世界地図をつくります。

**3月25日(日) 10:30～11:00 / 14:00～15:30**

対象 / 小中学生

定員 / 20名

講師 / 松尾真由美(広島市立大学准教授)

集合 / 展示室入口前

※参加無料、要事前申し込み

<申込方法>

参加者全員の氏名、年齢、代表者の住所、電話番号を明記の上、eメール(hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp)または往復はがき(〒732-0815 広島市南区比治山公園 1-1)でお申し込みください。3月16日(金)必着。

### 学芸員によるギャラリー・トーク

難しい、よくわからない、と思われがちな現代美術。

そんな方にお勧めのギャラリー・トークです。担当学芸員が展覧会をわかりやすく解説します。

いつもと少し違う視点で展覧会を楽しみながら、現代美術を身近に感じるプログラムです。

**3月31日(土)、4月15日(日) 14:00～15:00**

※要展覧会チケット、事前申し込み不要



### ゲンビ! アジア・フェスティバル

出品作家の出身地にちなんだアジア諸国の文化をお楽しみいただく2日間。伝統衣装や食文化の体験、映画や音楽鑑賞他、さまざまな企画をととしてアジアを体験していただきます。

**4月29日(日)、30日(月・祝)**

※内容、時間等の詳細については決まり次第、HP等でご案内します。

#### 【同時開催】

● コレクション展 2012-1

ビルディング 美術という建築

2012年3月16日(金)～6月24日(日)

#### 【次回開催】

● 特別展

解剖と変容: プルニー&ゼマーンコヴァー

チェコ、アール・ブリュットの巨匠

2012年5月26日(土)～7月16日(月・祝)

広島市現代美術館(学芸担当:角 広報担当:後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(問い合わせ用・学芸直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp